

母月→民間教育・保育施設、桜川市社云 福祉協議会への当事業の指導・助成		母月→民間教育・保育施設、桜川市社云 福祉協議会への当事業の指導・助成		母月→民間教育・保育施設、桜川市社云 福祉協議会への当事業の指導・助成	
事務事業名	地域子育て支援拠点事業	事務事業No.	10101000447	所属課	児童福祉課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
少子化や核家族など、子どもと家庭を取り巻く環境の変化を踏まえ、子育てしやすい環境を図るため、民間保育園においてセンター型（週5日以上）を平成19年10月から試行として実施し、平成20年度から本格実施。ひろば型（週3日以上）については、平成21年5月に岩瀬福祉センターで開設し、平成22年4月からはセンター型に移行した。平成23年5月に真壁保健センター内にひろば型を開設した。令和7年4月時点では市内5ヶ所で運営されている。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
令和7年市民アンケート調査結果において、“桜川市は子育てしやすいまちだと思いますか？”の問い（問1）に、そう思う・ややそう思うの割合が38.1%に対し、そう思わない・あまりそう思わないが59.5%であった。近年においては子育てしにくいと思う割合が増加傾向にある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

現 状 維 持		評 価 項 目	
①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）			
結びついている	地域子育て支援拠点として、保護者の子育ての不安が解消される。		
②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）			
妥当である	地域全体で子育てを支援する基盤の形成が重要であるため妥当である。		
③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）			
向上余地がない	事業内容の各取り組みをすべて実施することが定められているため余地はない。		
④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）			
影響有	保護者の子育てへの不安が増加し、少子化につながる。		
⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名			
余地がない	類似事業がない。		
⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）			
削減余地がない	削減できる事業でないため現状維持である。		
⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）			
公正・公平である	利用対象者が市内に居住する子育て家庭の保護者及び児童であるので公平である。		

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																								
①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	⇒	地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちの支援に結びついている。 新型コロナウイルス感染症の影響から利用実績が低下していたものの、近年は回復傾向である。 事業の重要性から今後も事業を継続していく。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 （終了・廃止・休止の場合は記入不要）																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○	×																						
	低下		×	×																						
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果	①																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）	
課長確認後の評価		確認欄	
A	A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出		